

芸術(系列選択)

科目名			
幼児教育音楽入門			
履修条件			
・特になし。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	G, I	0円
定期試験(授業内を含む)の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑤
<p>【紹介】 将来保育士や幼稚園教諭など、ピアノ実技を必要とする進路を目指すために、音楽の基礎的な力を身につける授業です。 初級レベルの基礎的な音楽理論の習得、ピアノ実技を学習し、童謡等の幼児音楽を使って弾き歌いができるように進めていきます。 授業内でピアノの技術を習得するためには個人での地道な練習時間が必要となります。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・人前での弾き歌いや手遊びなどの実技試験があります。 ・ピアノ初心者向けの授業です。すでに高度なピアノ曲が弾ける生徒にはお勧めしません。</p>			

科目名			
現代書			
履修条件			
・特になし。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	E	4,000円
定期試験(授業内を含む)の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	④⑤⑧⑨⑬
<p>【紹介】 硬筆の基礎となる毛筆で、漢字の楷書、行書、平仮名を学習します。 硬筆のテキスト「ペン習字の基礎」を使用し、実用的な書(履歴書、手紙、葉書、短冊、色紙、うちわなど)を各々の書式に従って、それにふさわしい筆記具で学習する。 県の書道展に出品します。 現代生活で必要とされるさまざまな実用的な書を一通り学んでおくことは、将来必ず役立つと思います。毛筆以外で書くことの好きな人たち、ぜひ履修してください。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・実技科目です。毎時間の取り組み作品と振り返りシートの提出から成績が付きます。欠席の多い生徒は作品を完成させることが難しいので向いていません。</p>			

芸術

科目名			
陶芸入門			
履修条件			
・特になし。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	E, F, I	2, 000円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑤⑦⑨⑩
<p>【紹介】 陶土（粘土）を扱い、制作技法を学びながら生活の中で使用できる器の制作を行います。前年度は、湯飲み、丼ぶり、ごはん茶碗、蓋つき小物入れ、ティーカップ等を制作しています。陶芸は粘土が乾かないように管理しながら制作していきますので、一つの作品ができるまでとても時間がかかります。じっくり時間をかけてものづくりをしたい人に向いています。実際に陶土（粘土）に触れながら制作をしていくため、付け爪や爪が長い人は陶芸入門には向いていません。【履修上の注意】をよく確認してください。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。 ・それぞれの工程で締め切りがあり、流れから外れると焼成が難しくなるため、しっかりと取り組める人が履修してください。 ・付け爪、長い爪は制作の支障となるため不可です。 ・まれに粘土で手がかゆくなる人がいます。水に頻繁に触れますので、皮膚の弱い人は向いていません。</p>			

科目名			
染織入門			
履修条件			
・特になし。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	C, I	5, 000円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑦⑨⑩⑪
<p>【紹介】 染織とは、染めたり織ったりする技術です。前期は木枠を使って毛糸等で椅子敷を織る課題と、豆絞りや蜘蛛の巣絞り等を施したTシャツを藍の染料で染色する課題があります。後期はトートバッグを型染で絵柄等を染める課題と、織機を使ってランチヨンマット等を織る課題等があります。全体的に繰り返し作業が多い授業です。特に織りは繰り返しの作業が多いです。また、手先を使う細かい作業も多いです。型染では絵をかいたりカッターで型紙を細かく切り抜きます。絞りでは針で縫う作業等もあります。そういう作業が苦手な人には向いていません。美術系進学（工芸系）を考えている生徒や工芸・手芸作品系の制作が好きな生徒はぜひ履修してください。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・実技科目です。授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠時が多い生徒は向いていません。 ・繰り返し作業や細かい作業が多い授業です。根気強く制作作業ができる人に向いています。 ・針やカッターなどがった道具が苦手な人は向いていません。 ・薬品や染料等によっては臭いがあります。 ・染色では手袋を用意しますが、手や爪が汚れる可能性があります。 ・制服が汚れないように学校指定ジャージやエプロンを用意してもらうことがあります。</p>			

芸術

科目名			
コンピュータグラフィックス入門 (CG入門)			
履修条件			
・特になし。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	G, I	1, 200円
定期試験 (授業内を含む) の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑦⑨⑩⑪
<p>【紹介】</p> <p>パソコンでAdobe Photoshopという画像編集ソフトを使い、ポスターやグラフィック作品等の作品を制作しながらコンピュータグラフィックスの基本を学びます。</p> <p>これからの時代に大切な『考える(発想する)力』を大切にする授業ですので、作品制作を通じて条件にあったオリジナルのアイデアや案を多く考えて描きます。</p> <p>美術系の授業なので、イラストを描くことが多くあります。写真加工では丁寧に細かい作業が大切になります。連続した時間集中して、パソコンでの制作作業ができる人に向けています。</p> <p>また、デジタルはアナログより修正作業がしやすいという特性を生かし、構図・色彩感覚を磨き、グラフィックデザインの基礎を学びます。絵を描いて終わりではなく、他者から見てどうかという視点を持って、よりよい作品を作るために柔軟に対応し、試行錯誤して制作を進めます。</p> <p>美術系進学(特にデザイン・イラスト系)を考えている人は、ぜひ履修してください。</p>			
<p>【履修上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CG発展を履修したい生徒は必ず履修してください。 ・実技科目です。授業への取り組み態度/実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物/プリント課題・クラスルーム課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠時の多い生徒は向いていません。 ・美術系以外にも、進学先や就職先でパソコンで制作をする可能性がある人にも履修を進めます。 ・パソコンを使用しますが美術系の科目です(情報系ではありません)。条件にあったオリジナルのアイデアを考え、試行錯誤しながら絵やイラスト等を描いたり写真加工をして作品を作る授業です。 ・イラストを描くための授業ではありませんので、イラストの描き方等は行いません。 ・パソコンでの文書入力等も多くありますので、パソコンの基礎知識があり、基礎操作ができる方が望ましいです。 			

科目名			
声楽			
履修条件			
・特になし。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	C	0円
定期試験 (授業内を含む) の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑦⑨
<p>【紹介】</p> <p>声楽の専門的な技術である発声法、呼吸法、リズムの取り方などを学びます。</p> <p>J-POPなど馴染みのある楽曲を使用して、豊かな響きと表現力を追求していきます。ソロだけではなくゴスペルなど数人によるアンサンブル活動に取り組み、より高度に楽曲を理解し、表現する楽しさを学びます。</p> <p>声を使った表現を追求したい人、ある楽曲を通して歌唱技術を高め、ハーモニーを作るなど音感を高めたい人はぜひ履修してください。</p>			
<p>【履修上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技試験や発表など、人前での演奏発表があります。 			

芸術

科目名			
絵画			
履修条件			
・特になし。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2,3	G	6,000円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑦⑨
<p>【紹介】</p> <p>美術系の進学を目指す人、絵が好きでもっと力を伸ばしたい人に向いています。授業では「観察して描く力」を高めていくため、人物クロッキー、デッサン（静物・石膏・自画像）について取り組んでいきます。また、絵の具による表現力を高める課題（模写・静物・想定課題）にも複数作品取り組み、作品の完成度を高めていきます。授業の中で発表・レポートの課題があります。</p>			
<p>【履修上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面作品（絵）制作がメインの授業です。絵を描くのが好きな人は楽しめます。 ・授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。 			

科目名			
陶芸発展			
履修条件			
・陶芸入門を履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	3	H	3,000円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑦⑨
<p>【紹介】</p> <p>陶芸入門で習得した基礎をもとに、難易度の高い作品制作に取り組みます。彫刻的な表現、急須、絵付け、大きめの丼などレベルアップした内容になります。イメージした形を具体的に表現できる力を身に付けていきます。【履修上の注意】をよく確認してください。</p>			
<p>【履修上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸入門で学習した内容を理解し、技術を習得していることを前提に進めます。 ・授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。 ・付け爪、長い爪は制作の支障となるため不可です。 			

芸術

科目名			
染織発展			
履修条件			
・染織入門を履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	3	A1	6,000円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑦⑨⑩
<p>【紹介】 染織入門で習得した基本をもとに、レベルアップした内容の課題制作を行います。織機を一人一台使用してかばんの生地制作や、羊毛フェルトでコースターの制作などを予定しています。 染織入門で染織が楽しい、もっとやりたいと思った人、学んだことをより深く学びたい人、積極的に学びたい人は、ぜひ履修してください。 繰り返し作業や手先を使う細かい作業が多い授業です。根気強く作業ができる人に向いています（染織入門より大きく、手間がかかる作品の制作があります）。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・実技科目です。授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠時が多い生徒は向いていません。 ・繰り返し作業や細かい作業が多い授業です。根気強く制作作業ができる人に向いています。 ・針やカッターなどがった道具が苦手な人は向いていません。 ・薬品や染料等によっては臭いがあります。 ・染色では手袋を用意しますが、手や爪が汚れる可能性があります。 ・制服が汚れないように学校指定ジャージやエプロンを用意してもらうことがあります。</p>			

科目名			
コンピュータグラフィックス発展（CG発展）			
履修条件			
・コンピュータグラフィックス入門を履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	3	A1	1,100円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑦⑨⑩
<p>【紹介】 コンピュータグラフィックス入門の発展科目です。入門で学んだことを活かし、より実践的な作品を制作します。 また、Adobe Illustratorの基礎を学び、テキストと画像を組み合わせたレイアウトの作成やデザイン、パスを使って描く線や図形を組み合わせたイラストの作成をします。 コンピュータグラフィックス入門を履修して、もっとCG作品を制作したいと思った人、面白いと思った人、より深く学びたいと思った人や美術系（特にデザイン・イラスト系）進学を考えている人はぜひ履修してください。 連続した時間、集中してパソコンで制作作業ができる人に向いています。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・実技科目です。授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・クラスルーム課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠時の多い生徒は向いていません。 ・美術系以外にも、進学先や就職先でパソコンで絵を描く可能性がある人にも履修を進めます。 ・パソコンを使用しますが美術系の科目です。条件にあったオリジナルのアイデアを考え、試行錯誤しながら絵やイラスト等を描いたり写真加工をして作品を作る授業です。 ・パソコンでの文書入力等も多くありますので、パソコンの基礎知識があり、基礎操作ができる方が望ましいです。 ・Illustratorは、ドロー系ソフトではありませんので、入門とは違いペンタブ等を使ったイラスト制作では、ありません。</p>			

芸術

科目名			
幼児教育音楽発展			
履修条件			
・ 幼児教育音楽入門を履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	3	A1	0円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑤
<p>【紹介】 将来保育士や幼稚園教諭など、ピアノ実技を必要とする進路を目指すために、音楽の基礎的な力を身につける授業です。 幼児教育音楽入門で学んだ基礎的な音楽理論、ピアノ実技を発展させ、より高度な楽曲に取り組み、童謡等の幼児音楽の弾き歌いができるように進めていきます。 授業内でピアノの技術を習得するためには個人での地道な練習時間が必要となります。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・ 発表形式での弾き歌いや手遊びの実技試験があります。</p>			